

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5695 URL https://www.powdertech.co.jp/  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 憲行  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 宮岡 克寿（TEL）04-7145-5751  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,492	5.3	155	△45.2	156	△48.4	98	△51.8
2024年3月期中間期	4,266	△7.7	283	△37.5	303	△38.5	204	△42.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 118百万円（△42.0%） 2024年3月期中間期 204百万円（△43.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	34.01	—
2024年3月期中間期	70.57	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,931	12,571	84.2
2024年3月期	14,990	12,699	84.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 12,571百万円 2024年3月期 12,699百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,830	3.3	460	13.3	510	6.7	370	32.1	127.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	2,970,000株	2024年3月期	2,970,000株
2025年3月期中間期	67,056株	2024年3月期	73,040株
2025年3月期中間期	2,899,525株	2024年3月期中間期	2,897,038株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド消費など経済活動に持ち直しの動きは見られるものの、ウクライナや中東の情勢による経済の分断の深まりに対する懸念、中国経済の減速懸念や欧米を中心とした金融政策の見直しによる経済への影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主力製品である電子写真用キャリアの需要は、流通在庫の調整も一段落して実需相当で推移しております。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤の需要は、引き続き堅調に推移しているものの、販売競争が激しさを増す中、原材料価格などの上昇により、厳しい事業環境が続いております。

このような市場環境下、当中間連結会計期間の売上高は、4,492百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

損益面では、主に修繕費の増加や人件費の上昇により、営業利益は155百万円(前年同期比45.2%減)、経常利益は156百万円(前年同期比48.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は98百万円(前年同期比51.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 機能性材料事業

当セグメントにおきましては、電子写真用キャリア及び新規機能性材料は販売数量の増加により、売上高は3,957百万円(前年同期比7.3%増)となりました。セグメント利益は、主にキャリアの原材料価格の高騰と修繕費の増加により433百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

#### ② 品質保持剤事業

当セグメントにおきましては、昨年の工場火災による生産停止時の他社製品への切替や一部製品の製造終了などにより、売上高は534百万円(前年同期比7.8%減)となりました。セグメント利益は、主に減販の影響で10百万円(前年同期比51.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、主に預け金の増加により、52百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより110百万円減少いたしました。以上により、総資産は58百万円減少し14,931百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金の増加により、69百万円増加し2,360百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い260百万円、中間純利益98百万円により、128百万円減少し12,571百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し84.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月8日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	367,667	348,637
受取手形	6,381	5,776
売掛金	972,511	993,111
電子記録債権	1,485,721	1,458,239
商品及び製品	1,323,036	1,252,991
仕掛品	1,171,965	1,197,077
原材料及び貯蔵品	578,497	626,818
預け金	2,355,709	2,442,280
その他	30,146	18,920
貸倒引当金	△957	△973
流動資産合計	8,290,680	8,342,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,360,525	6,524,795
減価償却累計額	△3,445,992	△3,525,180
建物及び構築物(純額)	2,914,533	2,999,614
機械装置及び運搬具	12,253,283	12,309,227
減価償却累計額	△10,860,611	△11,067,706
機械装置及び運搬具(純額)	1,392,672	1,241,521
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	44,662	44,662
減価償却累計額	△29,801	△31,781
リース資産(純額)	14,861	12,880
建設仮勘定	75,046	53,571
その他	834,936	848,471
減価償却累計額	△662,423	△697,128
その他(純額)	172,513	151,343
有形固定資産合計	6,429,825	6,319,129
無形固定資産		
その他	33,199	30,944
無形固定資産合計	33,199	30,944
投資その他の資産		
繰延税金資産	215,748	217,568
その他	22,112	22,687
貸倒引当金	△1,552	△1,552
投資その他の資産合計	236,309	238,704
固定資産合計	6,699,333	6,588,777
資産合計	14,990,014	14,931,659

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	893,592	1,038,100
リース債務	3,577	3,373
未払金	531,653	476,247
未払法人税等	68,871	75,476
未払事業所税	22,127	11,000
未払消費税等	57,789	51,503
賞与引当金	210,142	208,035
その他	120,075	117,098
流動負債合計	1,907,830	1,980,836
固定負債		
リース債務	11,575	9,882
退職給付に係る負債	370,296	369,841
その他	1,000	-
固定負債合計	382,871	379,723
負債合計	2,290,701	2,360,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	9,779,296	9,614,322
自己株式	△203,641	△186,957
株主資本合計	12,698,655	12,550,364
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	656	20,735
その他の包括利益累計額合計	656	20,735
純資産合計	12,699,312	12,571,099
負債純資産合計	14,990,014	14,931,659

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,266,077	4,492,037
売上原価	3,202,100	3,462,737
売上総利益	1,063,977	1,029,300
販売費及び一般管理費	780,018	873,780
営業利益	283,958	155,519
営業外収益		
受取利息	2,998	4,866
為替差益	19,658	-
助成金収入	-	3,655
その他	3,004	4,771
営業外収益合計	25,660	13,292
営業外費用		
支払利息	135	52
為替差損	-	9,815
その他	6,083	2,335
営業外費用合計	6,218	12,203
経常利益	303,400	156,609
特別損失		
固定資産処分損	3,264	5,075
特別損失合計	3,264	5,075
税金等調整前中間純利益	300,135	151,533
法人税等	95,697	52,909
中間純利益	204,437	98,624
親会社株主に帰属する中間純利益	204,437	98,624

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	204,437	98,624
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	349	20,078
その他の包括利益合計	349	20,078
中間包括利益	204,787	118,702
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	204,787	118,702

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	300,135	151,533
減価償却費	328,842	333,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	55	15
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,598	△2,107
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,991	△455
受取利息及び受取配当金	△2,998	△4,866
支払利息	135	52
為替差損益(△は益)	△2,919	1,257
固定資産処分損益(△は益)	3,264	5,075
売上債権の増減額(△は増加)	△148,574	10,597
棚卸資産の増減額(△は増加)	△43,524	3,738
仕入債務の増減額(△は減少)	98,462	150,028
未払金の増減額(△は減少)	△43,080	△42,282
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,906	△6,285
その他	10,280	997
小計	509,591	601,010
利息及び配当金の受取額	2,998	4,866
利息の支払額	△135	△52
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	7,173	△40,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	519,627	565,253
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△180,475	△192,793
有形固定資産の除却による支出	△863	△45,541
無形固定資産の取得による支出	-	△281
ゴルフ会員権の取得による支出	△3,000	-
ゴルフ会員権の売却による収入	1,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,338	△238,616
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,608	△1,897
自己株式の取得による支出	△245	-
配当金の支払額	△231,766	△260,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,620	△262,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,014	3,528
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,683	67,541
現金及び現金同等物の期首残高	3,150,481	2,723,377
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,261,164	2,790,918

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,686,923	579,153	4,266,077	—	4,266,077
外部顧客への売上高	3,686,923	579,153	4,266,077	—	4,266,077
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,686,923	579,153	4,266,077	—	4,266,077
セグメント利益	502,597	20,568	523,165	△239,207	283,958

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△239,207千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,353千円及び棚卸資産の調整額146千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
外部顧客への売上高	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
セグメント利益	433,936	10,001	443,937	△288,417	155,519

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△288,417千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288,414千円及び棚卸資産の調整額△3千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。